

C 協働学習 (C2)

主な学習活動

行書の特徴の一つである点画の連続を理解しながら、「無限の力」を書く。

1 本時のねらい

漢字の行書の基礎的な書き方である点画の連続を理解して、身近な文字を行書で書くことができる。

2 主に活用したICT機器・コンテンツ等

授業支援

3 参考にしてほしいポイント

授業支援アプリに累積した自分の作品を比較することで、自己課題を明確にすることができる。また、友達作品を評価し、気づきを共有することができる。

段階場面	主な学習活動	ICT機器活用のポイント
導入	自己評価したり、相互評価したりすることで、自己課題を明確にしながら、行書で「無限の力」を書く。	(授業支援アプリ) 前時に撮った作品を見ながら自己評価を行い、自己課題をより明確にすることができる。
展開		教材文字を実際に運筆する動画を活用することで、生徒が筆の動きを必要に応じて確認することができる。
まとめ		友達作品を見て気付いたことを書きこむ等、相互評価を行うことができる。



筆の動きを確認する。



自分の作品を撮影し累積する。

4 活用効果

生徒が、前時と本時の作品を比較することで、改善できた点、さらに改善が必要な点を客観的に捉えたり、授業支援アプリで友達作品を見て相互評価したりすることで、「点画の連続」に対する理解を深めることができた。また、理解したことを基に、穂先の動きと点画のつながりを意識しながら行書で書くことができた。

5 アドバイザーからのコメント

絵画や行書などの感性が伴う活動や評価では、その良さを自身で知ることが難しく、それは専門家に近づくこととなります。そのために、お手本をモデリングする、真似る、などの基本から始まり、比較するなど、違いを認識する過程になりますが、それをうまく実行しています。(東京工業大学 赤堀侃司)

授業支援アプリをポートフォリオとして活用することにより自身の振り返りが容易になります。実際に筆を動かしている様子なども映像として合わせて残すと、技能面における自己課題の解決や相互評価に際してより深い気づきを得られる可能性があります。(福島大学 平中宏典)